

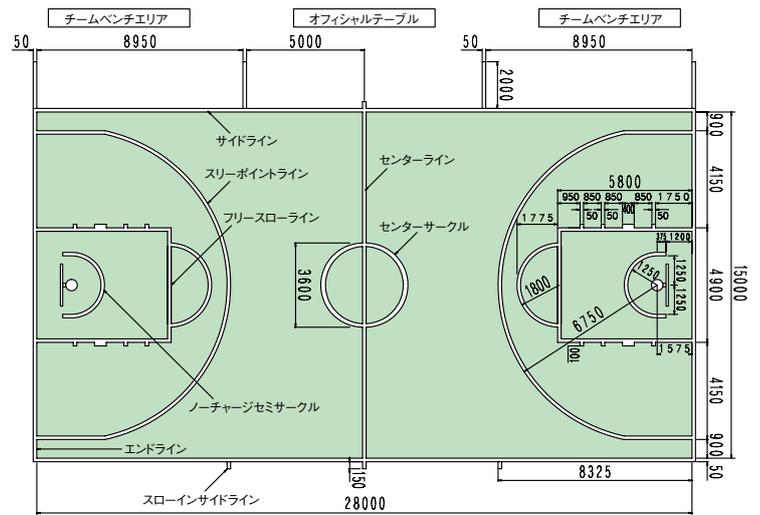


※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

バスケットボール

公式競技用コート28M×15M。

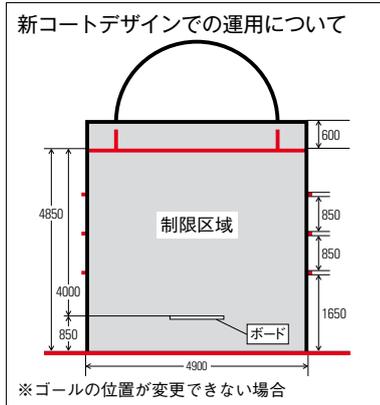
- コートは内側で測り全ての線幅は50mm。
- 障害限度
境界線から障害物や観衆まで2M以上、天井の高さは7M以上。



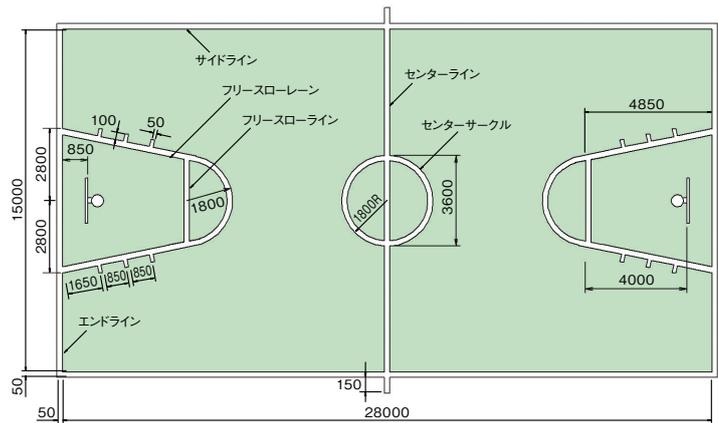
ミニバスケットボール

コートの大きさは、縦28M~22M、横15M~12Mとする。
初心者のコートの大きさは変更してよいが、縦・横の長さの釣り合いはこれに比例するようにする。

- コートは内側で測り全ての線幅は50mm。



[長方形の場合]



[台形の場合]

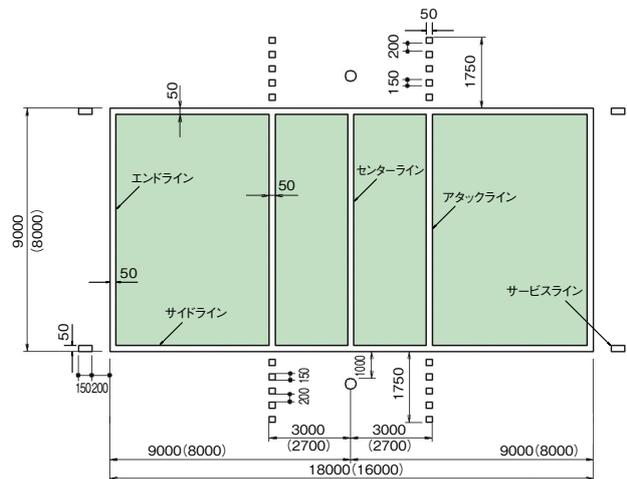
6人制バレーボール

●ネット高さ

- 一般男子：243cm 一般女子：224cm
- 高校男子：240cm 高校女子：220cm
- 中学男子：230cm 中学女子：215cm
- 小学男子：200cm 小学女子：200cm

●障害限度

サイドラインより5M以上、エンドラインより6.5M以上。
高さは国際大会で12.5M以上、国内大会で7M以上。
国際大会ではアタックラインの延長線上に長さ15cmの点線を20cm間隔で画線する。



※ () は小学校用

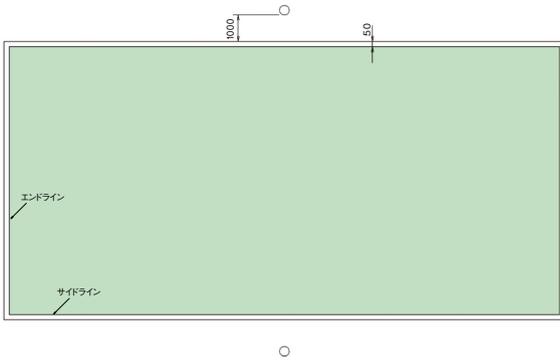
図面単位：mm

製品
製造器具
コート
バスケットボール器具
バレーボール器具
その他屋内球技器具
体育館施設器具
格技器具
障がい者関連器具
フィットネス器具
体力測定器具
ロッカー・清掃器具
水上器具
屋外施設器具
サービスマニュアル



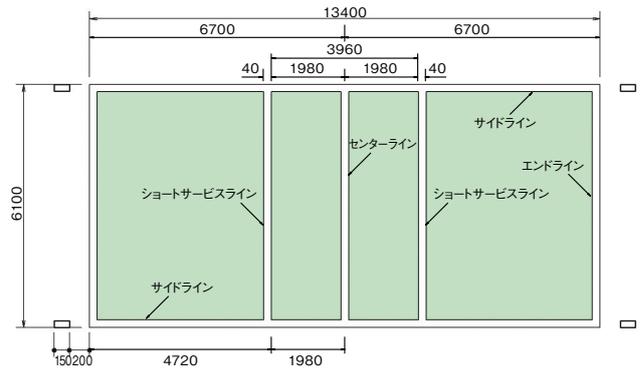
※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

9人制バレーボール



	長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ		長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ
一般男子	21M	× 10.5M	238cm	家庭婦人	18M	× 9M	205cm
高校男子	21M	× 10.5M	225cm	高校女子	18M	× 9M	205cm
中学男子	20M	× 10M	215cm	中学女子	18M	× 9M	200cm
一般女子	18M	× 9M	210cm	小学校	16M	× 8M	190cm

ソフトバレーボール

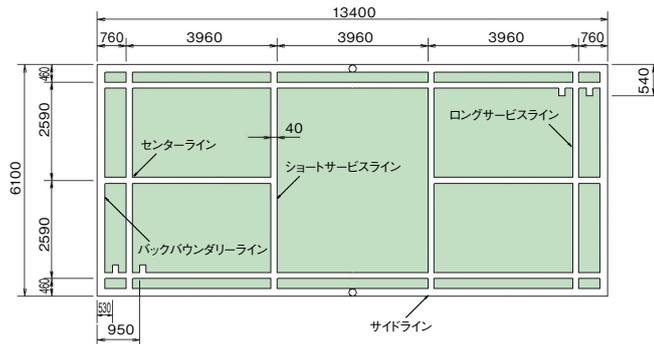


コートは、13.4M × 6.1M の広さを持つ長方形であって、最小限 2M の幅の長方形のフリーゾーンによって囲まれている。コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインによって区画される。また、ネットの真下に、両サイドラインを結ぶセンターラインを引き、コートを2等分する。ネットの高さは、200cmとし、幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用いる。コートは、バドミントンのダブルス用コートの外側ラインを利用してよい。

バドミントン(ダブルス)

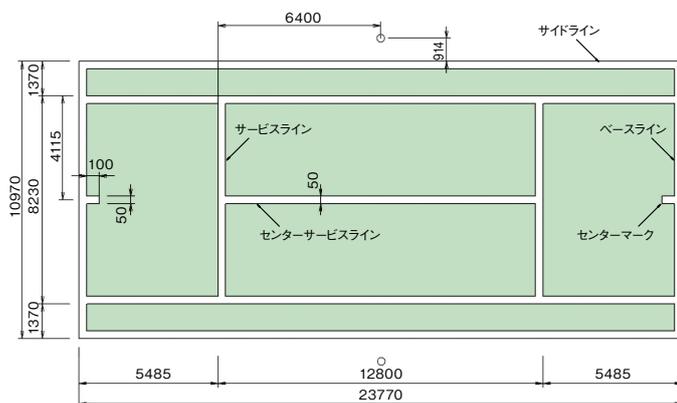
ポスト高さはコート面から1.55M、サイドライン上に立てられない時は40mm以下の細いポストかストラップを用い、サイドラインに固定させ、ネット紐に垂直に立てる。

- 対角線距離
 - シングルス…半コート 8.469M
 - 全コート 14.366M
 - ダブルス…半コート 9.061M
 - 全コート 14.723M
- 障害限度
 - ラインよりそれぞれ2M以上、高さ12M以上(公式試合)



硬式テニス(ダブルス)

公式試合の場合はベースライン外6.4M以上、サイドライン外3.66M以上の空地がなければならない。国際大会、公式トーナメントについては、ベースラインからバックストップまでの距離は最低でも6.4M以上、サイドラインからサイドストップまでの距離は最低でも3.66M以上が望ましい。2面以上コートが並列する場合は、コート間の距離は3.66Mの2倍、7.32Mが望ましい。特記なきライン幅は全て25mm~50mm。ポスト高さ1070mm、ネット高さはセンターで914mm、センターは50mm幅ストラップ止め。



図面単位：mm

製造

コート

体操器具

バスケットボール器具

バレーボール器具

その他屋内球技器具

体育館施設器具

格技器具

障がい者関連器具

フィットネス器具

体力測定器具

ロッカー・清掃器具

水上器具

屋外施設器具

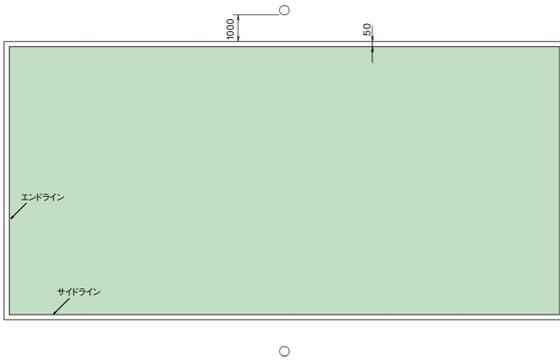
サービス事業

資料



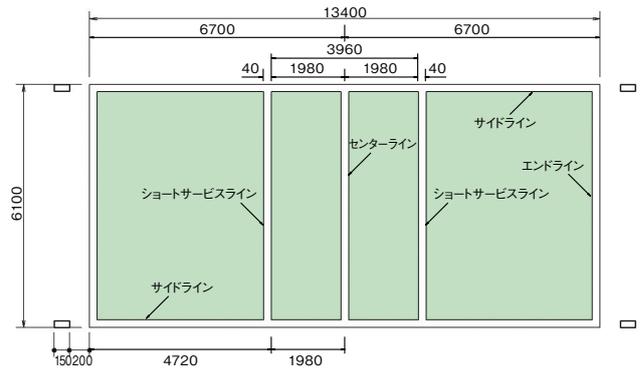
※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

9人制バレーボール



	長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ		長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ
一般男子	21M	× 10.5M	238cm	家庭婦人	18M	× 9M	205cm
高校男子	21M	× 10.5M	225cm	高校女子	18M	× 9M	205cm
中学男子	20M	× 10M	215cm	中学女子	18M	× 9M	200cm
一般女子	18M	× 9M	210cm	小学校	16M	× 8M	190cm

ソフトバレーボール

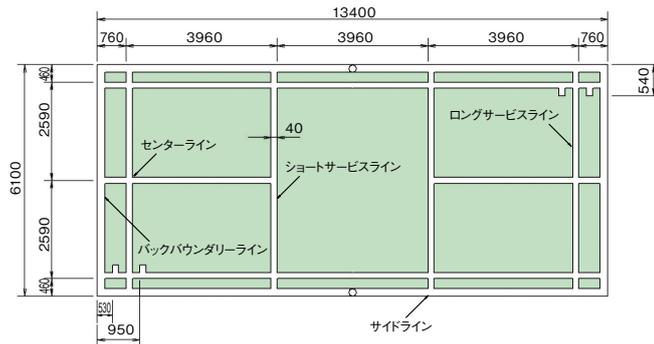


コートは、13.4M × 6.1M の広さを持つ長方形であって、最小限 2M の幅の長方形のフリーゾーンによって囲まれている。コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインによって区画される。また、ネットの真下に、両サイドラインを結ぶセンターラインを引き、コートを2等分する。ネットの高さは、200cmとし、幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用いる。コートは、バドミントンのダブルス用コートの外側ラインを利用してよい。

バドミントン(ダブルス)

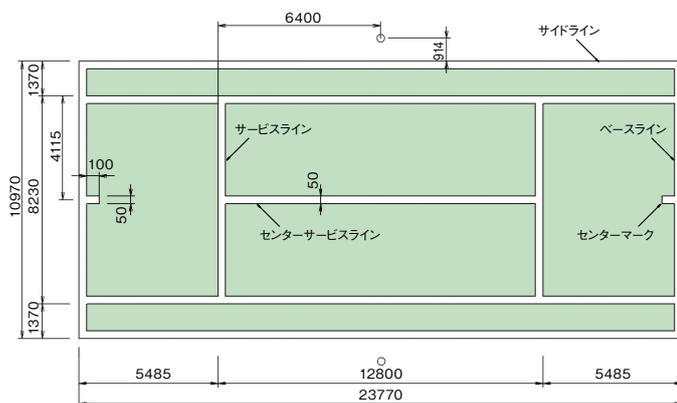
ポスト高さはコート面から1.55M、サイドライン上に立てられない時は40mm以下の細いポストかストラップを用い、サイドラインに固定させ、ネット紐に垂直に立てる。

- 対角線距離
 - シングルス…半コート 8.469M
 - 全コート 14.366M
 - ダブルス…半コート 9.061M
 - 全コート 14.723M
- 障害限度
 - ラインよりそれぞれ2M以上、高さ12M以上(公式試合)



硬式テニス(ダブルス)

公式試合の場合はベースライン外6.4M以上、サイドライン外3.66M以上の空地がなければならない。国際大会、公式トーナメントについては、ベースラインからバックストップまでの距離は最低でも6.4M以上、サイドラインからサイドストップまでの距離は最低でも3.66M以上が望ましい。2面以上コートが並列する場合は、コート間の距離は3.66Mの2倍、7.32Mが望ましい。特記なきライン幅は全て25mm~50mm。ポスト高さ1070mm、ネット高さはセンターで914mm、センターは50mm幅ストラップ止め。



図面単位：mm

製造

コート

体操器具

バスケットボール器具

バレーボール器具

その他屋内球技器具

体育館施設器具

格技器具

障がい者関連器具

フィットネス器具

体力測定器具

ロッカー・清掃器具

水上器具

屋外施設器具

サービス事業

資料

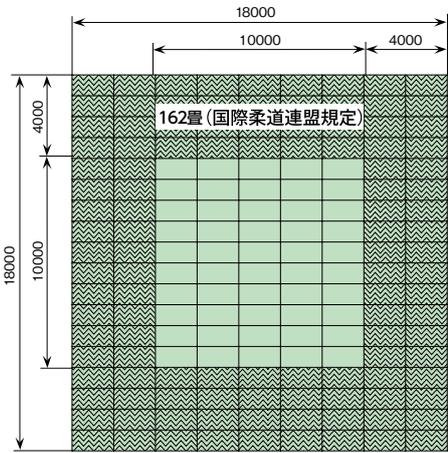


※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

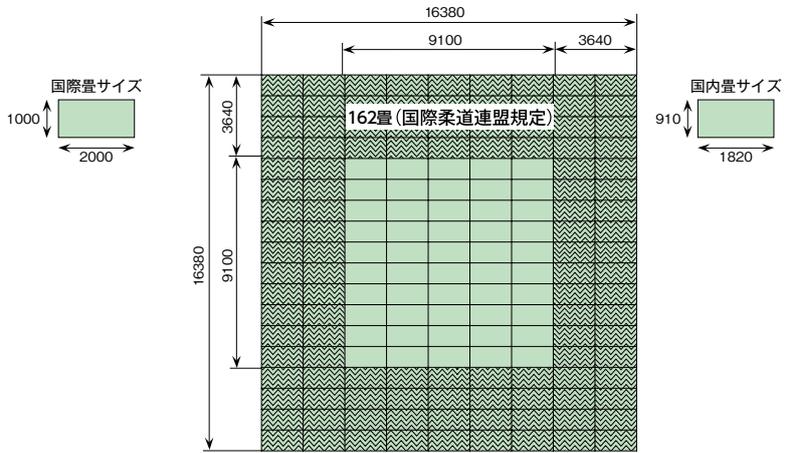
柔道

IJF主催のオリンピック、世界選手権、世界マスターズ、各種選手権の場合、試合場内を10M×10M、場外安全地帯を4Mで行います。上記以外のIJF主催の大会では、試合場内を8M×8M、場外安全地帯を3M~4Mで行います。

関西間敷き込み (10M×10Mに近づけた場合)

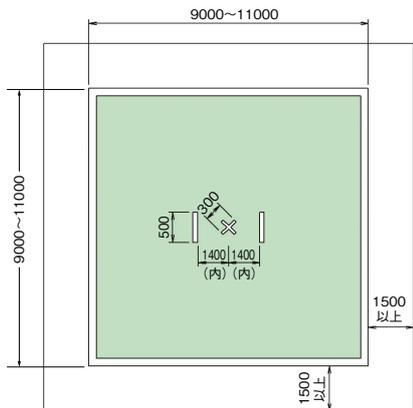


場内・場外を2色とする

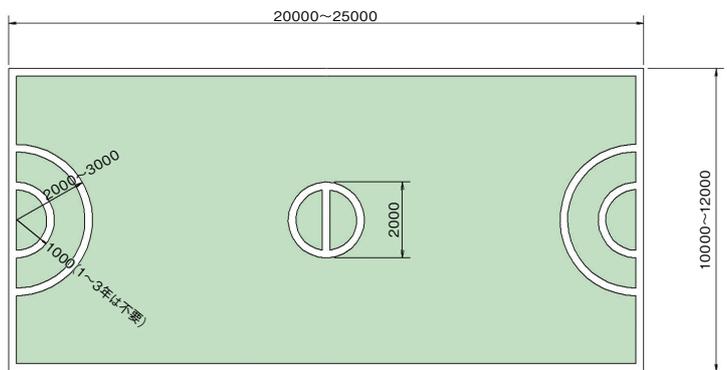


場内・場外を2色とする

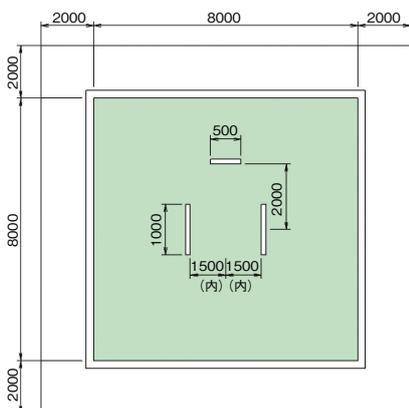
剣道



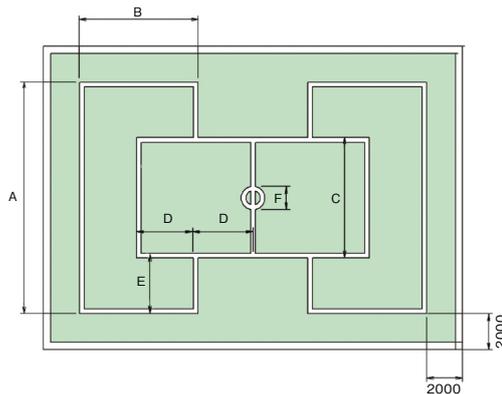
ポートボール



空手



ドッジボール



	小学生男子 小学生女子	中学生男子 高校生女子 中学生女子 一般女子	高校生男子 一般男子
A	16	19	22
B	8	9.5	11
C	10	11	12
D	5	5.5	6
E	3	4	5
F	3	3~4	3~4

(単位: M)

図面単位: mm

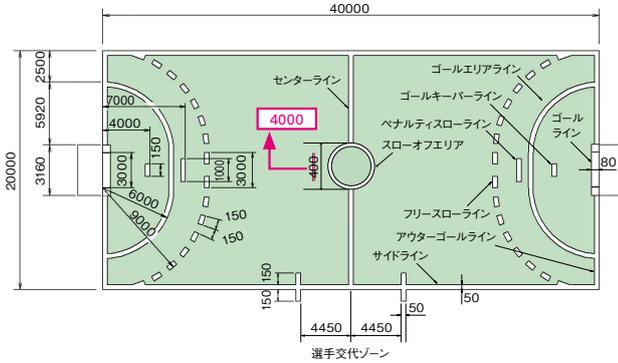
製品
製造器具
コート
バスケット
ボール器具
バレーボール
器具
その他屋内
球技器具
体育館施設
器具
格技器具
障がい者
関連器具
フィットネス
器具
体力測定
器具
ロッカー・
清掃器具
水上器具
屋外施設
器具
サービス事業
資料



※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

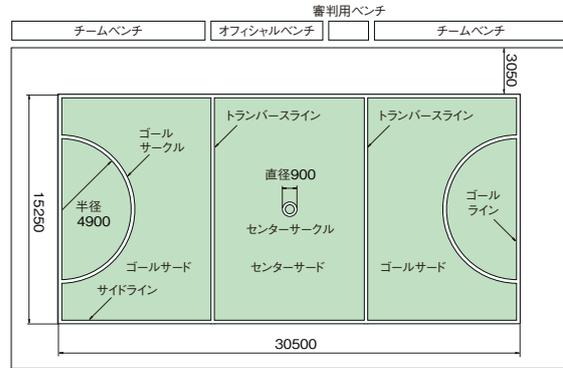
ハンドボール

競技場の大きさは40×20Mが標準である。小学生については36Mを標準とする。公式競技は40×20Mの競技場で行う。競技場の周囲に、サイドラインに沿って1M、ゴールラインに沿って2Mの安全地帯を設ける。ライン幅は50mmとする。



ネットボール

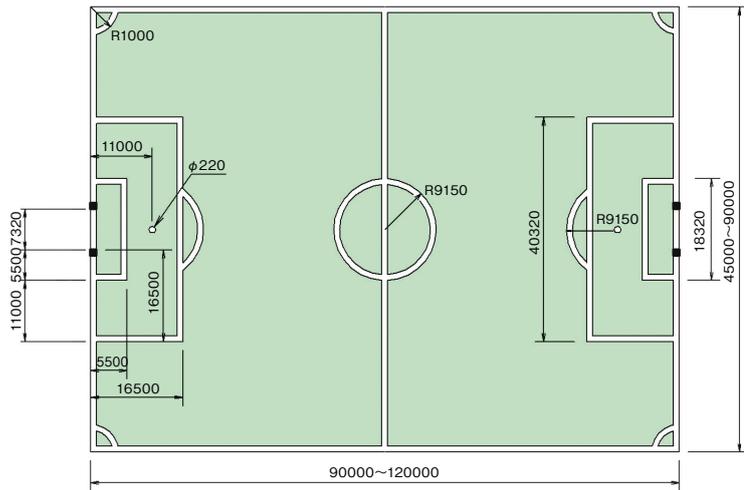
ゴールラインと平行に2本のラインが引かれ、コートを1/3に分割する。そのラインはトランスバースラインと呼ばれ、分割された真ん中のエリアはセンターサード、両端の2つのエリアはゴールサードである。全てのライン（白色が好ましい）は、コートの一部であり、50mm幅で描かれている。コート外周の幅は、ゴールライン、サイドラインから3050mmである。ゴールポストの高さは3050mm リングの内径380mm



サッカー

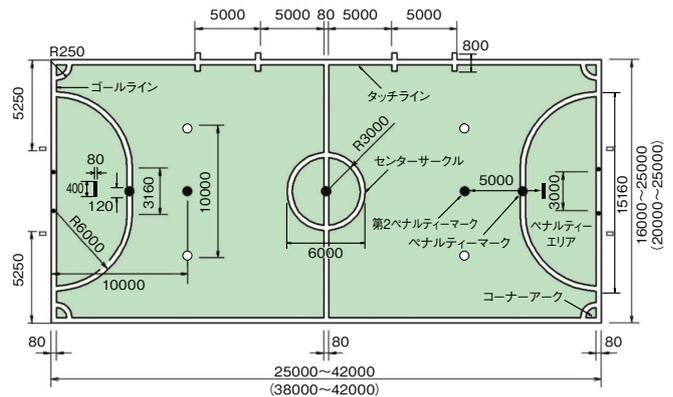
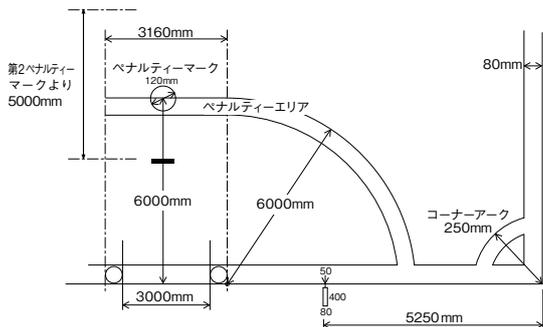
大きさ：競技場は長方形で、縦90M以上120M以下、横45M以上90M以下とする。（国際試合においては、縦100M以上110M以下、横64M以上75M以下とする。）縦の長さはつねに横幅より大きいものとする。

ライン：競技場は図に示すとおり、幅12cm以下の境界線によって描き、V字溝で区画してはならない。長いほうの境界線をタッチ・ライン、短いほうをゴールラインという。各コーナーには、旗をつけた先端の上がっていない高さ1.5M以上のポストを立てる。



フットサル

競技場は長方形で、縦25M以上42M以下、横16M以上25M以下とする。縦の長さはつねに横幅より大きいものとする。競技場は図に示すとおり、幅8cmの境界線によって描く。長いほうの境界線をタッチライン、短いほうをゴールラインという。ハーフウェイラインは競技場を横切って引かれる。競技場の中央を適当な印で示しこれを中心に半径3Mの円を描く。



()内は国際試合寸法

図面単位：mm

製造

コート

体操器具

バスケットボール器具

バレーボール器具

その他屋内球技器具

体育館施設器具

格技器具

障がい者関連器具

フィットネス器具

体力測定器具

ロッカー！清掃器具

水上器具

屋外施設器具

サービス事業

資料



※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

ビーチバレー

●ネット高さ

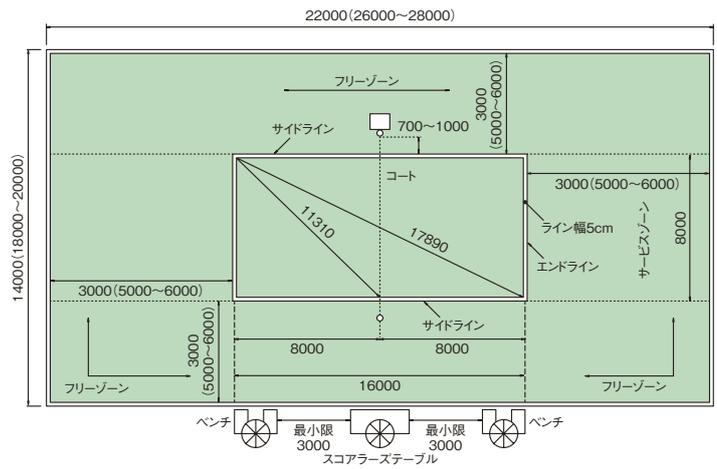
- 一般男子:243cm 一般女子:224cm
- 16歳以下男子:224cm 16歳以下女子:224cm
- 14歳以下男子:212cm 14歳以下女子:212cm
- 12歳以下男子:200cm 12歳以下女子:200cm

●コート

16M×8Mの長方形でライン幅は5cm。
地面はできる限り水平で均一であり、選手に危険性のないもの。
国際大会では、砂地は最低40cmの深さがあり、きめ細かい粒の砂。

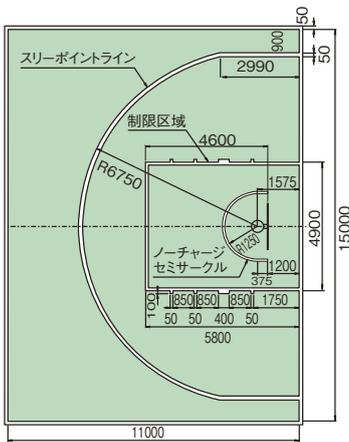
●障害限度

ラインから3M以上。
国際大会では5M以上6M以下。
高さは7M以上、国際大会では12.5M以上。



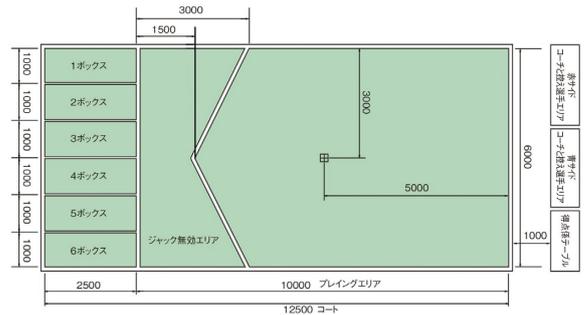
※ () はFIVB世界大会の基準

3×3 コート



ポッチャ

コートの寸法は12.5M×6Mとし、スローイングエリアは6つのスローイングボックスに分けられる。コートの外枠のラインは、内側を基準として計測する。スローイングボックスを区切るラインおよびクロスラインは細いテープを使用し、テープの中心が規定の位置となるよう左右均等に貼る。スローイングラインとVラインは、ジャック無効エリア内に貼る。すべてのコートラインは、容易に識別できるものでなければならない。ラインは粘着テープを使用してもよい。コートの外枠、スローイングライン、Vラインには幅4.0または5.0cmの太いテープを使用する。スローイングボックスを区切るライン、ターゲットボックス、クロスには幅2.0cmの細いテープを使用する。ターゲットボックスの内寸は35cm×35cmとする。35cm四方のターゲットボックスの外枠は細いテープを使用する。



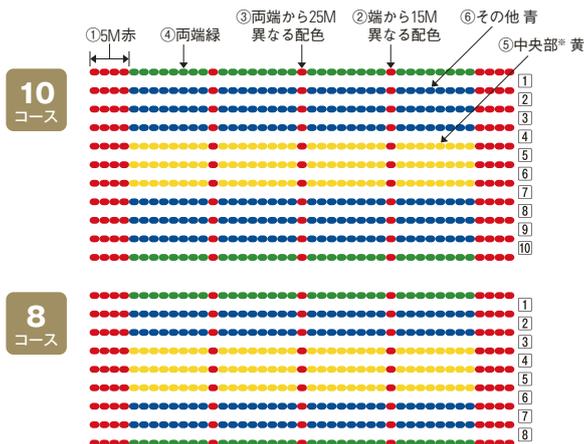
図面単位：mm

コースロープ

(公財)日本水泳連盟 レーンロープの配色規定

- ①両端から5Mは赤色
- ②端から15Mは隣接する配色と異なる色
- ③50Mプールでは、両端から25Mは隣接する配色と異なる色
- ④プールの両端は緑色
- ⑤中央部*のレーンは左右共に黄色
- ⑥その他 青色

- ※中央部とは…10コース：第5、6レーン
- 9コース：第4、5、6レーン
- 8コース：第4、5レーン
- 7コース：第4レーン
- 6コース：第3、4レーン
- 5コース：第3レーン



製造

体操器具

バスケットボール器具

バレーボール器具

その他屋内球技器具

体育館施設器具

格技器具

障がい者関連器具

フィットネス器具

体力測定器具

ロッカー！清掃器具

水上器具

屋外施設器具

サービス事業

資料